



佐仁っ子



今月のシンボルツリー「ゆんきゃぶりの木」

佐仁小学校キャッチフレーズ「蝶と太鼓と読書の佐仁小」 令和2年1月24日発行

※ この学校だよりは、『佐仁小学校ホームページ』より発信中です。どうぞ御覧ください。

明けましておめでとうございます。

校長 花房 八重子

新年明けましておめでとうございます。令和2年、2020年、ねずみ年、そしてオリンピックイヤーがスタートしました。保護者・地域の皆様方には、御家族お揃いで輝かしい新年をお迎えになられたことと拝察いたします。旧年中は、本校の教育活動や PTA 活動に多大な御理解と御支援をいただき、誠にありがとうございました。

さて、8日(水)の始業式では、3名(低中高学年代表)の子供たちが、それぞれに新年を迎えて、頑張るぞという意欲を発表してくれました。今年も、子供たち一人一人が自分の目標達成に向けて、やる気をもち続け努力できるような手助けを全職員で実践していきたいと思えます。

3学期は1年の内でも、最も出席日数が短い学期ですが、(6年生は54日間、1~5年生は55日間)1日1日が大切になります。学年の学習内容をきちんと身に付け、次の学年に向けての準備をして欲しいと思えます。6年生は中学校に進学します。心に残る小学校生活を送るとともに、新しい環境での勉強や生活に適應できるような心構えも身に付けておく必要があります。

子供たちが、有終の美を飾ることができる素晴らしい3学期にするために、学校職員が一丸となって学校教育の充実に努めていく所存でございますので、皆様方のより一層の御理解と御支援、御協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



佐仁っ子の受賞記録

【奄美市児童生徒夢作文コンクール】

特選 5年 〇〇〇〇さん

題名「祖父のような泥染め師に」

※ 奄美市内の小学生から選ばれた6名のうち、唯一5年生として特選を受賞しました。〇〇さんの作品は、安田重照さんの監修のもと、佐仁のシマグチに翻訳し、2月23日(日)の「奄美市まなび・福祉フェスタ」において、〇〇〇〇さんのスピーチにより披露されます。校区のみなさんも、ぜひ、応援にお越しく下さい。

【発表会場】

奄美文化センター

【発表時間】

午前9:55~午前10:45



2月の行事予定



4日(火) 〇〇さん体験入学, 入学説明会, 家庭教育学級(子育て講演会 15:00~15:45)

5日(水) 家庭学習・生活リズム強調週間(~14日), ぶくぶくうがい

8日(土) 土曜授業, 集団下校

9日(日) 奄美市美術展覧会(市文化センター:~17日)

※ 佐仁っ子の硬筆・毛筆作品も展示されます。

13日(木) ウギパギ

14日(金) 算数検定

19日(水) 佐仁リンピック, ぶくぶくうがい, 奄美市PTA広報誌コンクール

21日(金) 黒糖作り, 芸術鑑賞会(プロのバイオリニストによるバイオリン演奏会)

23日(日) 奄美市まなび・福祉フェスタ(福山心さん発表) 方言サミット(佐仁小事例発表・佐仁校区八月踊り披露:15:00バス出発, 17:30発表)

28日(金) C校時, 授業参観, 学級PTA, PTA全体会, 家庭教育学級(情報交換会, 閉鎖式)

今月のスマイルさん





子供の意欲、最高潮～授業参観・学級PTA～

1月17日(金)に授業参観・学級PTAを行いました。保護者のみなさまには、御多用の中、御出席・御参観いただきありがとうございました。

5時間目に行われた授業参観では、わらべ歌を親子で楽しむ音楽の学習(1年生)、お気に入りの場所を英語で紹介し合う外国語活動(3・4年生)、跳び箱で様々な技にチャレンジする体育の学習(5・6年生)を参観いただきました(写真)。保護者のみなさんの姿が見えると、子供たちの目がきらりと輝き、いつもに増して、やる気に満ちた表情に変化しました。そんな子供たちの様子を見ると、保護者のみなさんの参観は、子供の意欲を最高潮まで引き出す「やる気スイッチ」だなあ実感することでした。授業参観は残すところあと1回ですが、授業参観ではない日でも、遠慮なく学校にお越しいただき、子供たちの学習の様子を御参観ください。そして、子供のやる気スイッチを「ON」にしてください。お待ちしております。また、学級PTAでは、3学期の学級経営方針や進級・進学に向けた取組、卒業式に向けた計画等の説明や意見交換を行いました。本年度も残り約2か月ですが、今の学年で身に付けるべきことをしっかりと身に付けさせるためには、学校と家庭が一体となって指導に当たることが大切です。今後とも各学級の教育活動に、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



【1年生：わらべ歌の学習】



【3・4年生：外国語活動】



【5・6年生：跳び箱の学習】



家族みんなで健康にないましょう～第3回学校保健委員会～

1月17日(金)には、第3回学校保健委員会も行われました。「栄養バランスの取れた朝食を、毎日食べさせましょう」とよく言われますが、それはなぜでしょうか。また、栄養バランスの取れた朝食とは、どんな朝食なのでしょう。名瀬保健所からいらっしゃった、講師の山下雅代先生は、私達が日々抱えている疑問を分かりやすく解決してくださいました(写真)。



【山下先生による講演の様子】

1 朝食が大切な理由

「朝食は元気のコツ」だからです。朝食を抜いて登校すると、力が出ない、学習に集中できない、便秘がちになる、生活のリズムが崩れるなどの状態になります。

2 朝食をとらない、とれない子供には……。

まずは、生活リズムを整えさせましょう。ポイントは、「時刻」だそうです。まずは、朝食をとることができるような起床時刻を定めましょう。次に、起床時刻に起きることができるように就寝時刻を決めさせましょう。そして、就寝時刻に寝ることができるように、帰宅後の活動時刻を決めさせましょう。時刻を意識しながら正しい生活リズムをつくることで、「食べる時間がないため、朝食を食べられない」という事態は回避できることでしょう。

3 バランスのよい食事とは

主食、主菜、副菜が揃っている食事ことです。しかし、朝から多くのメニューを準備するのは大変なことです。そこで、次のような工夫をしてみましょう。

- 具たくさんのスープを前日のうちに準備しておく(朝は温めるだけ)。
- バナナ・ミカン・冷凍フルーツなど、調理いらずの朝食セットを準備しておく。
- ホットプレートを食卓に常備しておき、セルフ朝食をつくらせる(巣ごもり卵など)。
- 子供でもできることは、させてみる(親も助かる、子供も学びになる)。

豊かな朝食は、健やかな体づくりにつながります。しっかり食べて家族みんなで健康にないましょう。



「かごしまをまるごと味わう学校給食週間」の取組

1月24日(金)から1月30日(木)は「全国給食週間」です。学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町忠愛小学校で、貧しくて生活に困っている児童を対象に昼食を出したことが始まりだとされています。それから約130年の年月を経て、学校給食は進化を遂げてきました。今では、栄養補給の役割の他にも、食品を選択する能力や食事のマナー、感謝の心、地域の食材や郷土食などについて学ぶ教材としての役割も果たしています。

本校でも、食に関する指導の一環として、1月16日(木)から1月24日(金)を「鹿児島をまるごと味わう学校給食週間」とし、保健・体育委員会の子供たちによる食品クイズやおはしの達人ゲーム、給食クイズなどの取組を行いました(写真)。1月27日(月)には、給食センターの栄養教諭である藤千尋先生をお招きして、交流給食を行う予定です。子供たちは、クイズを通して、給食を支える方々や私たちの命をつないでいる食品に、改めて感謝の気持ちをもつことができました。また、「おはしの達人ゲーム」を通して、正しくはしを使うことの大切さを学ぶこともできました。食は健やかな体を支える大切な営みです。1週間で学んだことを、これからの食生活に生かしてほしいものです。



【食品クイズの様子】



緑茶うがいでインフルエンザ予防

インフルエンザが流行する時期になりました。予防法としては、予防接種、手洗い、うがい、マスクの着用などが挙げられますが、緑茶の飲用や緑茶うがいも有効であることを御存知でしょうか。

緑茶には「カテキン」という物質が含まれていますが、物質には強い抗菌作用があり、インフルエンザウイルスの繁殖を抑えるのだそうです。医学的にも証明されており、本校では、緑茶を持参し、うがいをしたり予防のために飲用したりする取組を進めています。

インフルエンザに万能な予防法はありませんが、有効な方法ができるだけ多く知り、実践することで、発症の可能性を低めることができます。みなさんも、手軽にできる緑茶うがいと飲用に取り組みみてはいかがでしょうか。



【緑茶うがいに取り組み子供】

佐仁の貴重な文化を一緒に披露しましょう

1月17日(土)と1月18日(日)にNHKで佐仁の文化が特集されました。佐仁のシマグチやシマ唄は、大変貴重であることが改めて分かりました。八行の音をパ行で発音することが佐仁のシマグチの特徴ですが、昔の日本でも、八行の音をパ行の音で発音していたそうです。つまり、佐仁のシマグチの特徴は、昔の日本語の名残と言えるのです。また、シマ唄や八月踊りが生活の一部として大切にされている奄美では、シマ唄や八月踊りの伝承を通してシマグチも受け継がれてきたという特徴があります。このような、貴重な言語文化を後世まで受け継いでいくため、奄美のシマグチは、アイヌ語や琉球語などと並んで、2009年に、ユネスコの「消滅危機言語」に指定されています。それに伴って、文化庁では、毎年「危機的な状況にある言語・方言サミット」という全国大会を開催していますが、今年度は2月23日(日)に奄美文化センターで開催地されます。そして、大会での実践事例発表に佐仁校区が指定されました。これは、先人が受け継いできた佐仁の文化が全国に認められたということの意味し、大変名誉なことです。



【NHKの取材の様子～シマグチ教室～】



【八月踊りの様子】

当日の発表は、25分間が割り当てられ、前半は、佐仁小学校で行っているシマグチやシマ唄、八月踊り伝承活動の様子を紹介し、後半は、代々受け継がれてきた佐仁の八月踊りを披露するという流れで行います。特に、後半の発表は、校区のみなさんの御協力をいただかなければ成り立ちません。そこで、両区長さんや八月踊り保存会に協力を依頼し、奄美市文化センターのステージで八月踊りを披露して下さる方々を募ることにしました。発表要領や当日の移動手段等については、折り込み資料として依頼文を配布しましたので御確認ください。多くの方の御出演を心よりお待ちしております。

子供たちの作品紹介～1学期終業式児童代表あいさつより～

ふゆやすみの おもいでと

三がっきの もくひょう

一年 〇〇〇〇

ぼくは、冬休みに名瀬のおじいちゃんとおばあちゃんのところに行って、お年玉をもらいました。そのお年玉は、貯金しました。また、神社に家族といとことお参りに行きました。とても楽しいお正月でした。

三学期の目標を、三つ話します。生活面では、冬休みに遅く寝たり、遅く起きたりしていたので、学校が始まったら、早起きを頑張ります。勉強では、昔話をたくさん読んで、図書の本をたくさん借りてもって本を読んでも、教頭先生にお話しに行きます。きりりっ子では、字をきれいに書くことを目標にしているの、書写展に向けて頑張ります。



冬休みの思い出と三学期の目標

四年 〇〇〇〇

楽しかった冬休みが終わり、いよいよ三学期が始まりました。

わたしが冬休みに楽しかったことは、神社に初詣に行ったことです。初詣では「家族みんなが今年も元気でいられますように」とお願いしました。その後おみくじを引くと大吉が出ました。「今年一年いいことがたくさんあるといいなあ」と思いました。

わたしの三学期の目標は、算数のわり算の筆算をできるようにすることです。家でも、わり算の筆算をして、苦手なことにもチャレンジします。

また、なわとびの練習を頑張ります。学校だけではなく、家でも練習します。交差とびができないので、五回とべるようになります。

わたしも、目標に向かって頑張るので、みなさんも目標を立てて頑張りたいです。



冬休みの反省と三学期に向けて

五年 〇〇〇〇

ぼくが冬休みに頑張ったことは、二つあります。

一つ目は、大掃除です。おじいちゃんの家のお掃除をがんばりました。ガスコンロの台を分解して、洗剤をつけて、金だわしでこしこしとこすりました。油がたくさんひっついていたので、とてもおいがくさかったです。

かん気せんも外して、きれいにしました。かわいたタオルでふきとり、分解したガスコンロもかん気せんもおじいちゃんに教えてもらいながら取りつけました。

火をつけると、ちゃんとしたので安心しました。おじいちゃんとおばあちゃんが、「とってもきれいになったね。」と喜んでいました。

二つめは、お正月の三献(さんこん)の酢の物作りのお手伝いをしたことです。

キュウリは、ほうちょうで切り、にんじん・大根は、おろす道具で細かくききました。ハマチのさしみもぼくが切りました。三学期の家庭科で、お手伝いしたことが生かせると思いました。

三学期は、国語の勉強での新出漢字を覚えることや算数などの教科を頑張っていきたいです。また、家庭での

手伝いも進んでやって、お父さんやお母さんを喜ばせたいです。



今月のとし込み文書

今月のとし込み文書は、次の4通です。

- ① 子育て講演会案内
- ② 方言サミット参加依頼
- ③ 黒糖作り協力依頼
- ④ 芸術鑑賞会案内



2月4日(火)の15:00から、子育て講演会があります。どなたでも参加できますので、ぜひ佐仁小にお越しください。詳しくは、案内文書を御覧ください。